

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年12月3日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定員に対して十分な机を用意し、状況によってパーテーションの設置と席の移動を行い、個別のスペースを確保しています。 感染拡大防止の観点から考えると、スペースは十分とは言えませんが、利用時のマスク着用の徹底、常時換気、定期的な消毒により対応しています。	利用児童一人当たりの広さは、法令基準を満たしています。 活動に応じて席の配置を工夫して、より良い環境づくりに努めてまいります。 また、感染防止については、岡山市の感染拡大防止策に基づき、徹底した対応をしてまいります。
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	基準よりも多い職員を配置し、療育に関わる職員は全員保育士資格などの有資格者が対応しています。 法令に従って配置ができるか、管理者・リーダー・運営全員で関わる、ミスのない様に三重のチェックをおこなっています。	平日は、時間帯によって児童が多く集まるごとがありますが、今後も適切な人員の確保と共に、利用児童数に合わせて更に人員を確保できるよう努力してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	室内に段差ではなく、車椅子での移動には支障のない環境になっています。 また、玄関の段差には黄色テープを貼り、視覚的にも注意ができるよう配慮しています。	事業所の玄関前にある段差については視覚的に注意ができる配慮として黄色のテープを貼っています。 今後、スロープの設置を検討し、すばやく利用児童の活動や支援に支障がないよう、環境の整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎日の清掃に加えて、床やトイレ、ドアノブやおもちゃ、送迎車内などの消毒を取り組むほか、クッションマットのスペースを作り、安全に利用できる空間になるように工夫しています。	今後も同様に、清潔な空間の維持に努め、岡山市の感染拡大防止策に基づいて、感染予防にも努めてまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎日のミーティング、毎月のケース会議、リフレクション会議など職責や年齢に関係なく課題があれば自由に話し合える場を設けています。 多くの視点から現状の把握に努め、今後の方針を検討できるようにしています。	今後も職員の話し合いの機会を設け、PDCAサイクルに沿って課題点を話し合い、評価を行い、解決策を見出し、業務改善に努めてまいります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	定期的にアンケートによる評価を実施し、またご相談があった場合は、その都度職員へ周知し、業務の改善に繋がるようにしています。	これからもいただいたご意見の検討をおこない、業務改善をおこなってまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	COMPASS 発達支援センターの公式Webサイトで公開し、保護者様等へお知らせをしています。	今後も結果はWebサイトで公開し、サービスの向上や改善につながるよう努めてまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現時点では第三者評価は実施されておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	事業所内研修を月に1回以上はおこなっています。 外部研修の情報は逐一職員に公開しており、参加したものについては、資料や情報共有をし、資質の向上に努めています。	今後も月1回以上の事業所研修を継続し、外部研修に参加したものについては情報共有をおこない、今後も資質の向上に努めてまいります。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	モニタリングや面談等から得た情報をもとに、児発管・療育担当する指導員や保育士による支援会議をおこない、保護者のニーズや児童の課題により適した計画の作成に努めています。	今後も、モニタリングや保護者面談により、課題の見出しへ一緒に取り組んでいます。 複数の視点から適切なアセスメントをおこない、保護者様の想いに最大限応えられる計画を作成できるよう努めています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	書類の統一と整備をおこない、年齢や児童の状況に合わせてアセスメントツールを使用しています。	今後も継続して適切にアセスメントツールを活用していきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	保護者様との緊密な情報交換を通して、現在の課題の整理と新しい課題の設定を踏まえ、支援内容を設定しています。 また、支援内容はケース会議・支援会議で話し合いをおこない、より具体的な支援ができる様に努めています。	今後も同様に、保護者様との緊密な情報交換を通じ、より具体的で適切な支援内容の設定に努めています。
関係機関や保護者との連携	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援計画は、療育担当者が常に確認できる様、個人の療育ファイルにも添付しています。 また、児童発達支援管理責任者が計画に沿って支援がおこなわれているかを適宜確認しています。	今後も療育にあたる職員が共通認識のもと、計画に沿った適切な支援がおこわれるよう努めています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	管理者・児発管・児童指導員・保育士・作業療法士など、さまざまな立場から意見を出し合い、児童の状況や課題に応じたプログラムをチームで立案しています。	今後も、さまざまな観点からの意見を出し合い、活動プログラムの立案をおこなってまいります。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	活動内容は、自社のカリキュラムに沿うと同時に、課題に対するアプローチの仕方を変化させ固定化しないようにしています。	連続性の課題を中心にし、長期休暇には季節ごとのイベント等も取り入れながら、児童に合った内容を設定して、固定化することのないように努めています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個別活動と集団活動を、特性や発達段階・年齢、保護者のニーズに応じて、計画的に組み込んでいます。	今後も同様に個別療育と集団活動を児童の状況や特性に応じて計画に組み込み、支援計画を作成してまいります。
保護者への説明責任等	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	毎朝ミーティングを行い、その日の支援方針や内容について話し合いをおこない、目的や注意事項を確認し、支援内容を決めています。	今後もミーティングを通して、支援の内容とその意味合いや進捗状況、現状の課題・注意事項やそれぞれの役割などについて話し合い、確認できるよう図っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	支援終了後、支援内容を報告し合い、職員間で情報共有を図っています。 気になる点などはすぐに児発管・報告をおこない、対策・改善策をミーティングで話し合い共有しています。	今後も同様に支援終了後の振り返りと職員間での情報共有をおこなっています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善について確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	日々の支援内容を必ず記録し、職員間で共有できるようにしており、すぐに検証と改善ができるようにしています。	今後も日々の支援の内容は必ず記録とし、すぐに検証と改善ができるよう心掛けてまいります。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6ヶ月以内に必ずモニタリングをおこない、児発管と療育担当者と現状の児童の成長や課題、保護者様からいただいた情報等を加味しながら、支援計画の見直しについて検討しています。	今後も継続して保護者様との情報交換を密にとり、利用児童の成長に照らし合わせながら、一人ひとりの児童発達支援計画の内容を複数の視点で検討してまいります。
非常時等の対応	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	担当者会議には児童の状況や変遷、現状の課題や保護者様の思いを最把握している児発管・療育担当者が参加しています。	担当者会議は、継続して児童の状況に精通した者が出席します。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	関係機関と日々の様子や困りごと、注意点や目標を共有・相談をおこない、連携した支援ができるようにしています。	今後も情報共有と関係機関との連携を継続してまいります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあります。今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあります。今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
保護者への説明責任等	25 移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個人情報保護の観点から、保護者様からの要望があった場合のみ、支援目標や内容等の情報を共有し、相互理解を図っています。	保護者様のニーズに合わせ、今後も関係機関と連携してまいります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	個人情報保護の観点から、保護者様からの要望があった時のみ支援目標や内容等の情報を共有し、相互理解を図っています。	今後も保護者様からの許可をいただいとうえで、関係各所へ情報共有をおこない、相互理解を図ります。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	専門機関へ定期訪問させていただき、助言を受けています。 現在、感染拡大予防の観点から参加を控えていますが、岡山支援部会などにも参加し、連携や研修をおこなっています。	今後も同様におこなっていきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	地域の読み聞かせ会などへ積極的に参加していましたが、現在は感染拡大防止のため交流は控えています。	感染拡大防止の観点から、外部交流は控えており、再開についても慎重に検討してまいります。
非常時等の対応	29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	協議会や地域部会へ参加していましたが、現在は感染拡大防止のため交流は控えています。	社会の情勢などを勘案し、参加を検討してまいります。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	日々の送迎時や家庭連携の際に、利用の様子や支援内容について説明をおこない、同時に保護者様からも、学校やご家庭での様子などをお聞きし、共通理解を図っています。	今後もあらゆる機会で保護者様との情報共有をおこない、いただいた情報をお伝えし、共通理解を図っています。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対する家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）の支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ペアレンツトレーニングについては、家庭の状況やニーズに合わせておこなっています。 日頃から児童への対応について相談がある際には、助言や意図もお伝えする様に配慮しています。	今後も保護者様へ丁寧な聞き取りと助言は継続しながら、さらに支援ができるよう検討してまいります。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ご契約時や質問があった際にできるだけ丁寧な説明をおこなっています。 また、職員研修でも周知を図っています。	今後も同様に丁寧な説明を継続してまいります。
保護者への説明責任等	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせた支援をおこなっています。 特に支援内容については、直接指導にあたる職員の意見を踏まえ、統一した支援ができるよう努めています。	これからも基本活動を児童の特性や年齢、季節等も考慮に入れて組み合わせた支援をおこなってまいります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ご相談や質問、お悩みについては、日頃からコミュニケーションをとり相談しやすい関係づくりを心掛けています。 定期的に保護者面談を行い、相談があれば助言と支援をおこなえるよう心掛けられています。	今後も同様に相談やお悩みには丁寧な対応ができるよう心掛けます。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	感染拡大防止の観点より、現時点では父母の会の活動支援や保護者会などは控えさせてもらっています。	保護者様のご意向を伺い、感染拡大予防のためミートでのオンライン会議の開催を検討してまいります。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、相談の体制を整備するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	ご対応窓口を設置しており、苦情には速やかに対応できるようにしています。 普段より保護者様と連絡を取り、相談や申し入れがしやすい様に努めています。 全てのご意見に対し迅速かつ適切に対応できるよう心掛けられています。	今後も同様にご相談や申し入れの対応は引き続き、丁寧かつ迅速に対応してまいります。
非常時等の対応	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	季節ごとに「COMPASSだより」を発行し、また公式Webサイトでは最新情報の他、毎日、事業所の活動内容がブログで紹介されています。	今後も同様に「おたより」、ブログを継続し、保護者様へサイトをお知らせしてまいります。
	38 個人情報の取り扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	写真掲載など個人情報に関わる場合には保護者様への確認書面により同意を得ています。 個人情報の取り扱いは細心の注意を払い使用し、施錠できる書庫で保管しています。	今後も同様に個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。
	39 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	利用児童や保護者様の特性や状況に合わせて、十分に配慮した情報伝達手段で意思の疎通を図っています。	今後も同様に継続してまいります。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	現時点では、地域の方をご招待するなどの交流は積極的に企画するまでに至っておりません。	学習主体の支援形態であるため時間配分への配慮と保護者様によっては通所を希望される方がおられるため、保護者様のご意向に沿って、慎重かつ充分な配慮の上検討してまいります。
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知することで、発生を想定した訓練を実施している	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知することで、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	マニュアルは策定し、室内の見やすい場所に掲示しております。 定期的に発生を想定した話し合いも職員間でおこなっています。	今後も保護者様への周知に努めるとともに、研修などで職員にマニュアルの再確認をしてまいります。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	地震・火事・不審者等への避難訓練を実施し児童や保護者等の徹底と、災害時に職員間の連携を図るようになります。	今後とも災害時にも児童と職員とが命を守る行動ができるよう、定期的な訓練と防災学習を継続してまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	アレルギーについては、初期アセスメントで必ず聞き取りをおこない、全職員共通理解と共に定期的に情報確認をおこなっています。	今後も継続して保護者様からの情報を頂き、全職員で共通理解に努めています。
	44 食物アレルギーのある子どもに基づいて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	契約時に保護者様から聞き取りをおこない、児童のアレルギーと対応を確認、全員で周知徹底しています。	今後も常に児童の情報を更新し、継続して安全に配慮してまいります。
非常時等の対応	45				